nikko am

日興ロックフェラー医療戦略ファンド

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第５期（決算日2015年７月31日）

作成対象期間（2014年８月１日～2015年７月31日）

第５期末（2015年７月31日）	
基準価額	28,457円
純資産総額	1,793百万円
第５期	
騰落率	49.6%
分配金（税込み）合計	1,000円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興ロックフェラー医療戦略ファンド」は、2015年７月31日に第５期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、世界各国の金融商品取引所に上場されている株式のうち、医療関連企業の発行する株式に実質的な投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目７番１号
http://www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

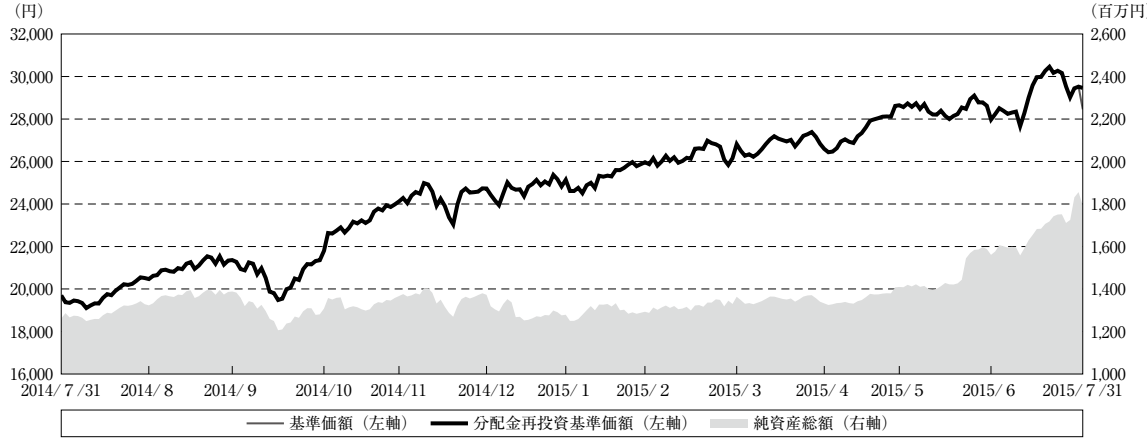
コールセンター　電話番号：0120−25−1404
午前９時～午後５時　土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2014年８月１日～2015年７月31日）



期　　首：19,697円
期　　末：28,457円（既払分配金（税込み）：1,000円）
騰 落 率：　49.6％（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、期首（2014年７月31日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の推移

期首19,697円の基準価額は、期末に28,457円（分配後）となり、分配金を加味した騰落率は＋49.6％となりました。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界各国の金融商品取引所に上場されている株式のうち、医療関連企業の発行する株式に実質的な投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。期中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

・欧州中央銀行（ＥＣＢ）による量的金融緩和プログラムが好感されたこと。
・バイオテクノロジー企業などの、一部の保有銘柄の株価が上昇したこと。

＜値下がり要因＞

・ヘルスケアサービス関連企業の一部の銘柄選択が不振だったこと。

１万口当たりの費用明細

（2014年８月１日～2015年７月31日）

項　　目	当　　期		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
	円	%	
(a) 信託報酬	502	2.052	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(270)	(1.101)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(211)	(0.865)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	(21)	(0.086)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	21	0.088	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(21)	(0.088)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	1	0.003	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（株式）	(1)	(0.003)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	29	0.117	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(14)	(0.057)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(12)	(0.050)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（その他）	(1)	(0.005)	その他は、外貨に係る税金
合　　計	553	2.260	
期中の平均基準価額は、24,442円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

最近５年間の基準価額等の推移

（2010年７月30日～2015年７月31日）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）当ファンドの設定日は2010年７月30日です。

	2010年７月30日 設定日	2011年８月１日 決算日	2012年７月31日 決算日	2013年７月31日 決算日	2014年７月31日 決算日	2015年７月31日 決算日
基準価額　（円）	10,000	10,318	10,819	16,275	19,697	28,457
期間分配金合計（税込み）　（円）	―	500	500	1,000	1,000	1,000
分配金再投資基準価額騰落率　（％）	―	8.2	9.7	59.7	27.2	49.6
純資産総額　（百万円）	8,217	1,498	690	1,478	1,261	1,793

（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

（注）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2011年８月１日の騰落率は設定当初との比較です。

（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

（2014年８月１日～2015年７月31日）

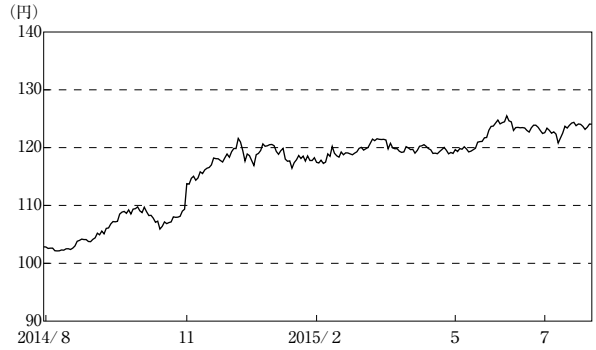
（株式市況）

一時的に株式市場のボラティリティ（変動性）が高まる局面もありましたが、世界各国の政府が予想外の追加景気刺激策の実施を発表するなど、世界の株価は概ね底堅い推移となりました。こうした環境下、バイオテクノロジー企業や医療機器関連企業の株価上昇に牽引され、ヘルスケアの株価指数は、期を通じて良好に推移しました。2015年６月の終盤には、中国市場の株価の下落基調やギリシャの債務危機を受けて反落する局面もありましたが、ヘルスケアセクターのディフェンシブ（景気動向に左右されにくい）性なども手伝って、期末にかけては、ヘルスケア指数のパフォーマンスは比較的に良好に推移しました。ＦＤＡ（アメリカ食品医薬品局）による新薬の認可やＭ＆Ａ（企業の合併・買収）の動向などが注目を集めました。

（為替市況）

期中における円／アメリカドル相場は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

（2014年８月１日～2015年７月31日）

（当ファンド）

当ファンドは、「グローバル医療戦略マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（グローバル医療戦略マザーファンド）

運用戦略に大きな変更はありませんでした。バイオテクノロジー企業における技術革新などに注目しており、時期ごとに細部のチェックを行なうなど、十分に吟味して銘柄選択を行ないました。引き続き、中・小型のバイオテクノロジー企業に対しては、積極姿勢で臨みました。

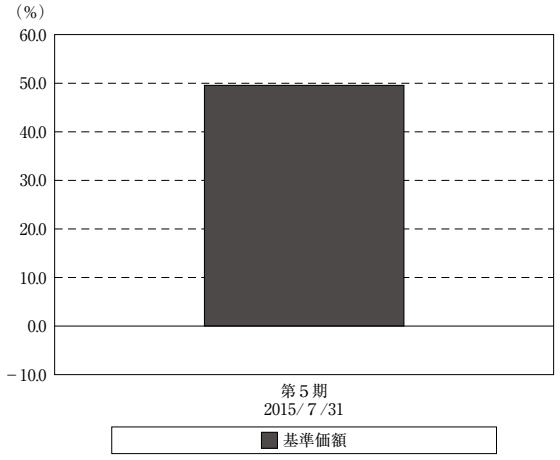
当ファンドのベンチマークとの差異

（2014年８月１日～2015年７月31日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

基準価額（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

（2014年８月１日～2015年７月31日）

当期における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下の通りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第５期 2014年８月１日～ 2015年７月31日
当期分配金	1,000
（対基準価額比率）	3.395％
当期の収益	1,000
当期の収益以外	―
翌期繰越分配対象額	18,456

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）
引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル医療戦略マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（グローバル医療戦略マザーファンド）
ヘルスケアセクターについては、景気感応度が相対的に低いことや、引き続き長期的な成長が期待されることから、地政学的リスクや商品価格のボラティリティの高まりを巡る懸念が強まりつつあるなかでも、明るい見通しを維持しています。
製薬会社などにおいて、販売開始が間近に迫ると目される幾つかの新薬に注目しています。また、特化型医薬品メーカーのM＆A（企業の合併・買収）動向についても引き続き活発な動きが見られるものと注目しています。
将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

お知らせ

2014年８月１日から2015年７月31日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

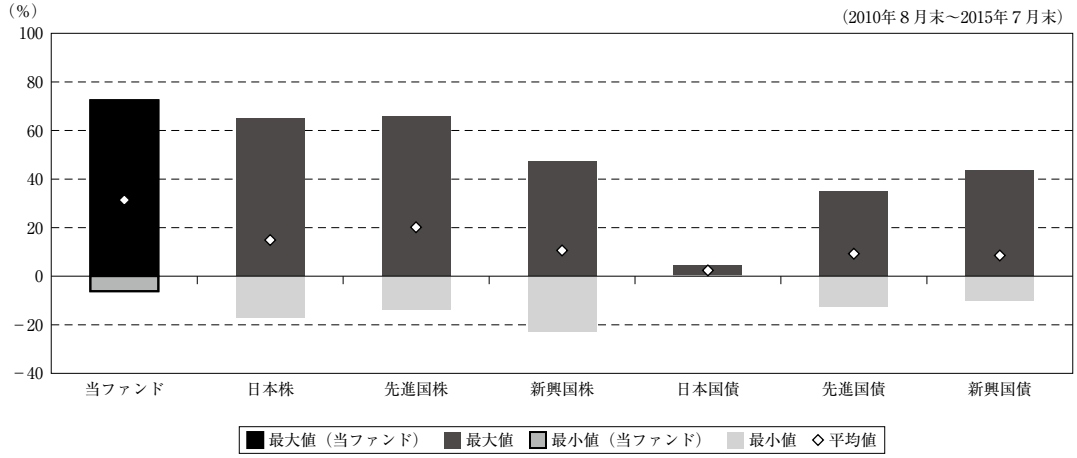
当ファンドについて、2013年６月に改正された金融商品取引法および投資信託及び投資法人に関する法律ならびにこれに関連する政令・内閣府令が2014年12月１日に施行されたため、改正後の法令に対応させるべく、2014年12月１日付にて信託約款に所要の変更を行ないました。
（第28条の２、第48条、第53条、第54条、第57条の２）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2010年７月30日から2020年７月31日までです。	
運用方針	主として「グローバル医療戦略マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日興ロックフェラー医療戦略ファンド	「グローバル医療戦略マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル医療戦略マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンドは、主として、世界各国の金融商品取引所に上場されている株式（これに準ずるものを含みます。）のうち、医療関連企業の発行する株式に実質的な投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。医薬品メーカーに限らず、医療用機器やバイオテクノロジー、医療施設などの分野の企業を幅広く投資対象とします。原則として為替ヘッジは行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	72.5	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	△6.2	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△10.1
平均値	31.4	14.9	20.1	10.6	2.4	9.3	8.5

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2010年８月から2015年７月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2011年７月以降の年間騰落率を用いております。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》
日　本　株：東証株価指数（ＴＯＰＩＸ、配当込）
先進国株：ＭＳＣＩ － ＫＯＫＵＳＡＩ インデックス（配当込、円ベース）
新興国株：ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）
日本国債：ＮＯＭＵＲＡ － ボンド・パフォーマンス・インデックス国債
先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：ＪＰモルガン ＧＢＩ － ＥＭ グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

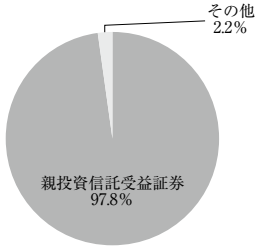
（2015年７月31日現在）

○組入上位ファンド

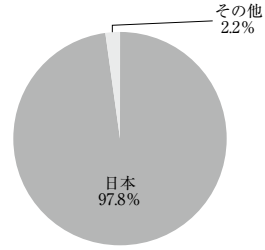
銘　柄　名	第５期末
	%
グローバル医療戦略マザーファンド	97.8
組入銘柄数	１銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

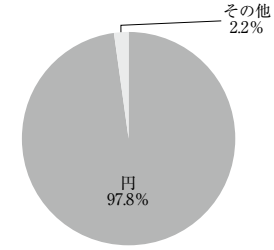
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

項　　目	第５期末
	2015年７月31日
純資産総額	1,793,619,735円
受益権総口数	630,296,921口
１万口当たり基準価額	28,457円

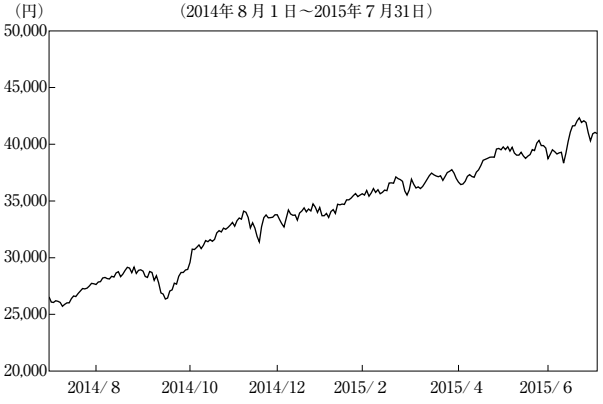
（注）期中における追加設定元本額は351,338,508円、同解約元本額は361,661,865円です。

組入上位ファンドの概要

グローバル医療戦略マザーファンド

【基準価額の推移】

（2014年８月１日～2015年７月31日）



【１万口当たりの費用明細】

（2014年８月１日～2015年７月31日）

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 売買委託手数料	30	0.090
（株式）	(30)	(0.090)
(b) 有価証券取引税	1	0.004
（株式）	(1)	(0.004)
(c) その他費用	21	0.063
（保管費用）	(19)	(0.058)
（その他）	(2)	(0.005)
合計	52	0.157
期中の平均基準価額は、33,448円です。		

（注）上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第３位未満は四捨五入してあります。

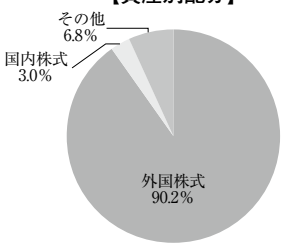
【組入上位10銘柄】

（2015年７月31日現在）

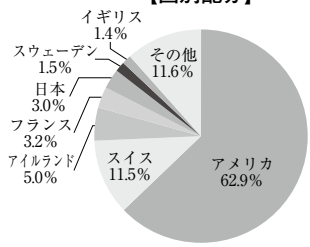
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	NOVARTIS AG-ADR	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	スイス	5.8
2	MERCK & CO. INC.	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	5.4
3	ULTRAGENYX PHARMACEUTICAL IN	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	4.2
4	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	スイスフラン	スイス	4.1
5	MALLINCKRODT PLC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アイルランド	3.4
6	REGENERON PHARMACEUTICALS	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	3.4
7	SANOFI-ADR	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	フランス	3.2
8	EXPRESS SCRIPTS HOLDING CO	ヘルスケア機器・サービス	アメリカドル	アメリカ	3.1
9	BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	2.9
10	ALEXION PHARMACEUTICALS INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	2.8
組入銘柄数		65銘柄			

（注）比率は、純資産総額に対する割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
（注）国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

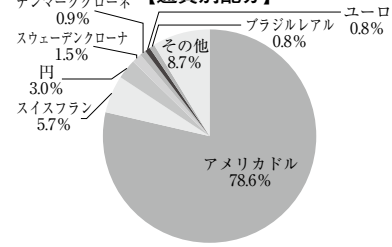
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

○東証株価指数（TOPIX、配当込）
当指数は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。

○MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込、円ベース）
当指数は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）
当指数は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA － ボンド・パフォーマンス・インデックス国債
当指数は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
当指数は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガン GBI － EM グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）
当指数は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。